

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)早川コミュニティ供用施設	階数	地上1階 地下0階
建設地	神奈川県綾瀬市早川字市兵衛谷2934番2	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	25 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,368 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2023年12月28日
敷地面積	2,188 m <sup>2</sup>	作成者	さくら設計
建築面積	595 m <sup>2</sup>	確認日	2023年12月28日
延床面積	536 m <sup>2</sup>	確認者	さくら設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 神奈川県綾瀬市に計画された地上1階建て、RC造の公民館。 断熱性能を高めるとともに、高効率設備や節水器具を採用し、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の削減に務めた。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質対策として、内装材及び取付接着剤は全て☆☆☆F4を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築物移動等円滑化基準を満たし、建築基準法の25%増の耐震性を有することで、安全でみんなが利用しやすい建築物とした。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 既存のイチョウを保存し、植栽を計画することで、良好な景観を形成。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。躯体と仕上げ材が容易に分別できるようGL工法を採用し、部材の再利用可能性向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の自転車置き場、駐車場を確保し、交通負荷制御に努めた。光害対策として、屋外広告は行わず敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される